



小さなスクリーンから大きなスクリーンまで弊社工場内で検品して出荷しております。また取付状況に応じて、規格外の生地サイズや別注の取付金具などの製作が得意です。ぜひご相談ください。



シネマ工場のオリジナルブランドで、スクリーン(Screen)の「S」とシネマ工房(Cinema)の「c」、そして、皆さんの役に立ち、喜ばれるために、製品の品質や技術を追求していく精神を持ち続けることを期して、ラボ(研究所)(Laboratory)の「la」を組み合わせました。

カタログご利用の手引き

- 当カタログ掲載商品のご注文は、型番にてお願い申し上げます。
- 本文中の製品寸法は指定がある場合を除き、すべてミリメートル(mm)単位で表示しています。
- スクリーンのサイズは、多少の誤差がございますのでご了承ください。
- 本文中の仕様は、平成24年11月現在のものです。

製品改良のため、予告なく仕様の変更をさせていただく場合があります。



スクリーンの取付についてのご注意(まず、取付場所の安全を十分に確認してください。)

- コンクリート天井の場合、ホールインアンカーボルトで、しっかり固定してください。
- 天井ボードの場合、天井裏の鋼製の野縁にしっかりと固定するか、もしくは補強してから取付を行ってください。



スクリーンの取扱いについてのご注意

- スクリーンにぶらさがったり、掲示物を掛けたりしないでください。
- スクリーンを昇降するときは、周囲に人や障害物がないことを確認してから行ってください。



スクリーン生地についてのご注意

生地表面には、きれいな映像を映すための特殊なコーティング加工が施されており、汚れやキズが入ると、映写効果を損なうことになります。

- スクリーン面に直接手を触れないでください。また、鉛筆やマジック等で書くこともできません。(書けるスクリーン(ISN)を除く)
- スクリーン面をベンジンやシンナー類で拭かないでください。水拭きもできません。
- スクリーン面についたほこりや簡単な汚れは、乾いた布か柔らかいブラシで、軽く拭き取ってください。
- 直射日光の当たる場所には、置かないでください。



昇降ボタン・各種ハンガーに関する注意事項

- ☐ 取付工事は必ず専門の取付工事業者に依頼して下さい。
- ☐ 取付される建築物の構造・材質・強度を確認し、十分に安全を確保する必要があります。
建築物の構造・材質・強度に不備があると事故や故障の原因となります。

- ☐ 正しく安全に使用いただくために、事前に取り扱説明書を良く理解し、使用者への適切な使用方法をご説明ください。
- ☐ 取付や取扱いに関する不備に関しての故障・事故に関しては、当社では一切責任は負いません。